

評議委員会

5月7日、第1回評議委員会を初めて web 会議で開催いたしました。昨年度決算報告、来年度役員人事、予算案の承認や、事業計画案の承認のほか、各単位 PTA の現状や取り組みについての発表を行いました。モニター画面越しで簡単なものではありましたが、各校の交流ができました。

今後もコロナ禍にあってもできる限りの交流の場を開催していきたいと思ます。

家庭共育委員会

6月4日、第1回家庭共育委員会を開催いたしました。オンラインに不安のある方もいる中でしたので、オンラインか来場かを選んで頂けるようにしました。大きな回線トラブルもなく無事に開催することができました。会場に来て頂いた方には、委員会終了後オンラインでの不安をとれるようご説明もできたのでよかったです。また委員会内では、各学校の年間計画を発表して頂き、それに対する質疑応答から、情報交換・情報共有ができました。各校、コロナ禍での PTA 活動をどのようにしていこうかと、迷いながら考えていることが伺えました。家庭共育委員会は、保護者同士が共に学びながら「子どもたちのために何ができるか」を考える機会の一つです。

今後も、他校のやり方を参考にしたり一緒に考えたりする中で、より PTA 活動が活性化できるよう家庭共育委員会が情報交換・情報共有の場になればと思います。

長野県 PTA 連合会

5月28日に長野県 PTA 連合会(県 P) 定期総会が行われました。新型コロナウィルス感染拡大防止のため、ZOOM を使用した web 開催となりました。

昨年度の活動報告や、今年度の事業計画案、人事の承認が行われました。昨年度は県 P、長野県内の各都市 P 連とも、コロナ禍で思うように活動ができなかったようですが、その中でも様々な工夫、試みがなされているようでした。

今年度は子どもたちに「生きる力」を与えることのできる真の P T A 活動を生み出すため、県 P 連が群市 P 連を全力で支援するという年度所信が示されました。

PTAに参加する おやじのひとり言



息子との時間

4年生になった息子のグローブを新調しました。同時に私の15年使い込んだグローブも新調し、息子と模様違いのお揃いになりました。コロナ禍でうち時間が多くなり、以前よりもキャッチボールをする時間が増えました。

いつの間にかいい球を投げるようになった息子。大きくなったなあ。コロナ禍が終息しても続けたいと思います。



PTA会長のお父さんに一言

長女は「学校から配られるものが増えて大変。」(えっ? そっち?) 次女は「大変だと思うけど、頑張っていると思う。」(ん! 上司?) 妻は「仕事が忙しい中でのPTA会長はもっと忙しくなって申し訳ない。でも、やってくれて助かります。」(良かったです。)

PTA会長の大変さってやっぱり伝わりにくいものですね(苦笑)。1年間頑張ります。



子どもの寝顔の力

子どもを叱った夜、子どもの寝顔を見ながらいつも思う事があります。「今日は怒りすぎたな…」つついっ大声で怒鳴ってしまっています。

そして寝顔を見ながらいつも反省して謝っている自分があります。

自分にとって、子どもの寝顔は癒しでもあり、自分を見つめ直させてくれる物なのです。

本来は怒り過ぎなきやいいんですけどね 頑張れ親父!!



運動不足に注意!!

昨年の我が家のおうちじかんの工夫。出かける事なくなった週末や連休にフローリングの部屋を片付けて、雨の日でも縄跳びが出来るようにして子どもたちの運動不足の解消に努めました。

手本を見せようと軽い気持ちで臨んだ四半世紀ぶりの二重飛びは、全身の悲鳴と悲しくて残酷な現実を連れて来てくれました。



おうち時間

外出が難しい昨今、「おうちにいる時間」が増え、子どもたちと一緒にゲームをする事があるのですが、まあ上手い上手い!!いや、自分が下手なのか…。

速すぎてどのボタンを押せば良いのかプチパニックを起こしながらも楽しんでます! やりすぎ注意ですが、自分の方が熱中してしまいそうな勢いでございます。



ちょっとした楽しみ

お家時間が増えたように思う毎日です。先日、子どもの用事で図書館に行ったついでに、小説のコーナーに惹かれて、久しぶりに本を借りて読みました。何処かで聞いたことのある作者のものばかり。読んでみると、夢中で楽しめました。

中3の娘は、勉強、部活の空いた時間に、紙粘土でアクセサリトレーを作っていました。絵の具で色を塗り、ニスで仕上げ。夢中で楽しんでいました。数時間でも、ちょっと現実から離れて、気分を変えることは大切なあと感じました。



つながりで出来てますね

ここ数年のPTA会長は、実は地元の消防団経験者及びその関係者です。わが校では後任の役員選定を現役員の一つで探して打診しているのですが、やはり一緒の釜の飯を食った仲間、酒を酌み交わした仲間に対する信頼は絶大です。

「また行くのか〜い」と家族に言われながら参加していた、消防団にしてもPTA会長にしても素晴らしい経験をしていると思います。



おうちでの過ごし方

最近の子どもの様子を紹介したいと思います♪おうち時間が増えたことで、子どもだけでカレーを作ったり、犬の世話やお手伝いを積極的にしてくれるようになりました。

コロナ渦ではありますが、悪い事ばかりではありません。親子の会話は子育てでとても大切だと思っているので、話す機会が増えとても嬉しいです。



スーツに着替えて

今日は、「PTAの日」いつもより少し早めに仕事を終えて帰宅した私に「パパおかえりー」と子どもたち。スーツに着替え資料を抱えて出かける私に笑顔で「会長! いってらっしゃい」子どもたちも理解して応援してくれているんだな〜。

今日も会長頑張ってください。



トピックス



1990年代、当時の穂高中学校は生徒数が千人を超えマンモス校解消が課題になっていました。生徒に対し行き届いた活動を実現するため2001年4月、穂高東中学校は礫山美術館に隣接した旧穂高中学の校舎を引継ぎ、穂高西中学校は有明山を望む広大な田園の中に新設され、新たに開校いたしました。両校は県内でも珍しく同一の校章と校歌を受け継ぎ、ともに昨年記念の20周年を迎えました。

穂高東中学校



旧穂高中学校の敷地を引き継ぎ穂高東中学校。昨年度、開校20周年を迎えました。記念事業としては、校章のしゃくなげ13株と桜2本を植樹しました。開花は翌年度と予想されていましたが、本年4月に力強い花を咲かせてくれました。また、20周年の文字を象った航空写真の撮影、生徒たちの学校生活とこれまでの歩みを振り返る記念誌の発行、実用的なクリアファイルの作成等を実施しました。

そして、生徒会が主体となったしゃくなげ祭では、厳しい状況下でも工夫を凝らし、Zoomを活用したオンラインイベントなども行い、大きな節目の年を全校で祝うことができました。地域とともに創り上げてきた20年。それぞれの思いと願いを重ねることができました。



穂高西中学校



穂高西中学校では昨年度、創立20周年を迎えました。講演会やイベントの企画も考えたのですが、感染症の事があり最小限の事業となりました。

10周年の際にも作成された構成を引継ぐ形で、記念誌を作成いたしました。

航空写真の撮影、大型扇風機やジェットヒーター、加湿器、クリアファイルなどの記念品、一部校内施設の改修整備などを行いました。生徒会による「開校20周年を振り返る会」として学校に残る資料をスライド映像にして、校内放送いたしました。

当初より「誠なる人、明らかなる人、健やかなる人」を学校目標として、誠実に物事に取り組んできた代々の生徒たち、先生方の思いが蓄積され年輪となって20周年というこの記念樹をさらに成長させていく大きな起点となりました。

